

主体的に学び、考えを深める授業の創造

令和3年度 産山学園共通実践事項+2

- (1)単元のゴールの姿（単元デザイン）
 - (2)導入う（問いやつぶやきを引き出している・子供の言葉でめあてを立てている）
 - (3)展開ふ・や（積極的なファシリテート・思考ツールの活用）
 - (4)終末ま（子供の言葉を生かしたまとめ・自らの学びや自己の変容がわかる振り返り）
- ＊効果的な場面で目的に応じたICT機器の活用
＊学習過程が分かるように整理された板書の工夫

校内研通信

No. 1

6月2日（水）
文責：富永

今年度は、校内研通信を月に1回は発行していきたいと思います。校内研通信では、校内研で検討したものを取りまとめたり、授業研の再分析を載せたりします。先生方のおすすめの教育書や個人の実践例など内容はざくばらんに、いろいろなことを先生方に紹介できればと思います。

ぜひ気軽に読んでください！発行したい先生也大歓迎です(^o^)

さて、今年度の第1号は5月26日（水）の校内研のテーマ研について改めて紹介します。

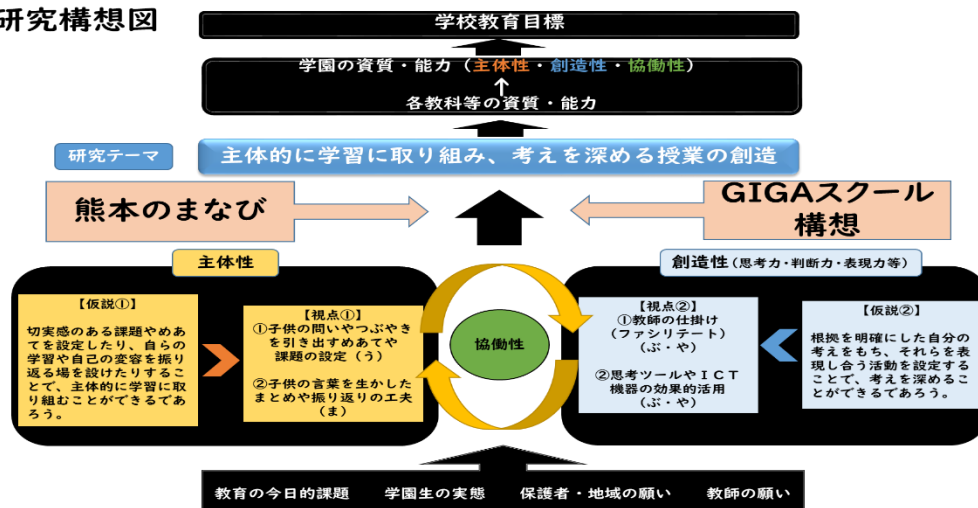
第1回校内研から

～テーマ研～

熊本の学びの7つの授業チェックリストをもとに、授業を行うにあたって基本的なことを「産山型学習 ver」に厳選しましたが…全て実践できれば子どもたちにとって学びの多い授業になっていると思います。裏面に載せていますのでご確認いただき、お気づき等あられる先生は、富永までお願いします。6月中旬までには、先生方が日々チェックできるように配布します。日頃のご自身の授業を見直す材料にいただければと思います。

また、本年度は以下の構想図で研究を深めていけたらと思います。昨年度から引き続き行っていくことと、熊本の学びを自校化するべく、新たに実践していくべきことを「産山型学習」に落とし込んでいます。今後の、教育的動向を考えますと、どれも実践しなければならないものとなっていますが、まずは、視点①からでも、視点②からでも、どちらか一方からでも構いません。学校教育目標の実現のための、研究部側からのアプローチの視点とさせていただき、ご自身の専門で教科の特色を生かしながら取り組めるところから実践の方、よろしくお願いします。

R3 研究構想図



職員みんなで楽しく、前向きに学べる校内研になるように頑張ります。



「産山学園」授業実践4つのチェックリスト+2（熊本の学びの自校化）

【授業作り・授業参観の視点】

産山学園のすべての子供たちが「**主体的**」に学び、考えを深める「**創造性（思考力・判断力・表現力等）**」ため、授業作りや授業参観の視点としてご活用ください。（**重点取り組み事項**）

番号	観点	チェックリスト (子供の姿)	授業改善（例）
1	単元 ゴールの姿	(子供たちは) 単元終了時の姿を共有しているか。	□ 単元のデザイン （どんなことが分かり、できるようになったらいのか、実生活や次の学びにどう生かすのかを具体的にイメージした指導 など）
2	導入（う）	(子供たちは)「なぜ」「おそらく」など、疑問や予想をもったり、つぶやいたりして意欲をもって学習に取り組んでいる。	□ 問いやつぶやきを引き出す工夫 （言葉かけ、教材提示、切実感のある学習課題など） □ 子供の言葉でめあてを立てる工夫 （問題解決型のめあてなど）
3	展開 (ぶ・や)	(子供たちは)「やってみよう」「なるほど」「きっと」など、挑戦したり納得したりして個人やペア、グループ等で学習に取り組んでいる。	□ 積極的なファシリテート (1) 考える場面・書かせる場面 (2) 対話し、協働して問題を解決する場面 (3) 対話や協働場面 (1～3の場面での働きかけや問い返しなど) □ 思考ツールの活用 （比較・分類・関係づけなど）
4	終末（ま）	(子供たちは)「分かった」「できた」「もっとやってみよう」等、実感や達成感を得たり更なる意欲を高めたりして学習に取り組んでいる。	□ 子供の言葉を生かしたまとめ （学習内容や何を学んだかがわかる板書の工夫） □ 自らの学びや自己の変容がわかる振り返り （あ・か・う・し・どの視点や未来向きの振り返りなど）
*	ICT 機器の活用	(子供たちは) ICTの活用により、学ぶ意欲が高まったり、学習の理解を深めたりしている。	□ 効果的な場面で目的に応じたICTの活用 （学習活動での活用、提示資料として活用）
*	板書の工夫	(子供たちは) 板書を基に学習の流れを振り返っている。	□ 学習過程が分かるように整理された板書の工夫 （子供の言葉に着目した板書や構造的な板書など）

ご確認ください。お気づきの点は、富永までお願いします。